

### 60億人目の赤ちゃん

私は、先日次のように走り書きされた一通の手紙を受け取りました。「人類が退屈しのぎに子孫を増やしているからといって世界が破壊されるがままにはできない。世界はすでに不要な人間で満ち溢れている。」

また、ある妊娠中絶賛成者は、人が災害に遭遇して死に至ると世界はほっとして安堵のため息をついていると私に言いました。

国際連合人口基金(UNFPA)においてしばしば聞かれる「世界は人類の活動によって荒廃させられた」というコメントは上記のような考え方を煽っています。この記述は世界人口が60億人に到達したことに関連して最近使われたものです。

私達の人口は60億人に到達しました。これは良い事でしょうか、それ

赤ちゃんを喜ぶ社会は、  
相手に与えることを  
知る社会

れとも悪い事でしょうか。人口監査役員達はこの事態を災難だと嘆いています。これに反して、名のある国際的指導者達の団体は「ようこそ赤ちゃん、60億人の世界へ」と表題をつけた声明を出しており、この事態に賛意を表しています。

人口過剰不安の問題はあまりにも履き違えられています。問題は、人々があまりにも多すぎるといふ事でもなく、資源があまりにも少なすぎるといふ事でもありません。問題は独裁者が武器として食料を利己的に利用したり、政府が食料提供や食料配給を利己的に干渉したりすることなのです。

資源の存在に関する限りでは、上に述べた声明を引用すると地球上のすべての人が毎日3500カロリー消費する分の十分な穀物が生産されています。もし、それに肉や魚や果物やその他のあらゆる食料を加えたとするならば、一人の人が必要とする余る程充分な食料が毎日生産されています。

人の数については、声明で指摘しているように、人口過剰ではなく人口減少の方が、今日の世界の脅威となっています。来年初頭までには、世界人口の半分以上を占めている70ヶ国以上の国々に占めて合計特殊出生率が2.1人になり

出生率の低下が見られるようになります。先進国国民の人口は倍増しているのではなく逆に、減少しています。

人口の減少に関しての懸念には、これを裏づけるれっきとした証拠があります。国際連合本部において、人口減少について何をすべきかという議論をするために会議が開かれました。はつきりした解決策はまだ見えていません。しかしながら、私達は60億人目の赤ちゃんの誕生に対する私達の反応を考慮することによって、どこから始めるのかという手がかりを得られるかもしれません。私達は喜

ぶことができるでしょうか。いつも良いこととして、生命の誕生に感謝できるでしょうか。以下のようにつめくられた最近の発言に見られる様な感情を、私達は少なくともお互いに確認し合うことができるでしょうか。

「私達は世界に60億人目の赤ちゃんが誕生したことに感謝していません。その赤ちゃんは男子であれ女子であれ、皮膚の色が赤色でも黄色でも、黒人でも白人でも、私達の重荷なのではなく、財産であり、呪うべきものではなく、私達すべてにとって神からの祝福なのです。」

フランク・パヴォーン

### 幸せな家庭をつくる10のすすめ

1. 互いに許しあう。
2. 目覚めてから眠りにつくまで神と共に暮らし、皆で一緒に祈る時間を持つ。
3. 明るく、仲良く、互いを思いやる。
4. それぞれが責任を持つ。
5. 共に行動する時間を持ち、家の仕事や余暇の楽しみを分かちあう。
6. 意見の交換にとどめ、けんかにまで発展させない。
7. 小さな事に目くじらをたてず、きちんと話しあう。批判は厳禁、調和を心がける。
8. 素直になる。感情よりも規律を優先させる。
9. 互いの弱点や悩みを理解し、克服できるよう助けあう。
10. 共に人間として「成長」する。同じ目標をもち、一歩ずつでも神に近づけるよう一緒に考え実践する。

# 忘れられぬ痛み

私の手元には、苦惱から回復しつつある、とある母親からの手紙がある。手紙は雄弁で説得力があり、我々みんなに向けてのメッセージであふれている。その内容を紹介しよう。

10年前の今日と同じ月日には、私のおなかにはまだあなたがいた。そして、次の日に、私はあなたの命を奪ってしまった。あなたの母親であるこの私は、あなたにいのちを与え、そしてそのいのちを絶った。

あれから10年も経つというのに、今でも「中絶」という言葉を聞くと胸が痛むわ。私の心には、決して埋められることのない穴、完全に暖まることはない冷たいもの、決してやまらぬ深い悲しみがあるの。私にとってあなたは、いつまでも終わらない歌であり、つぼみのまま咲くことのない花であり、雨のせいで届かない太陽の光なの。

も頭をよぎった。自分がいつた娘を持つことになったのか息子を待つことになったのか、とても知りたかったのね。なのに私は、上から見下ろしているお医者さんになんか質問をすることがぶしつけに思えて、聞けなかった。代わりに私は、その白衣の男性が私の震える手を軽くたたいて「すべて終わってほっとしただろう？」と言ったとき、敗北感と悲しみの中でうなずいただけだった。

ベッドに横たわった私の耳には、同僚や新しい車や服のことを話している看護婦の音が聞こえていた。その人たちには、あなたのいのちを終わらせることなんて単なる仕事に過ぎなかったのね。他人の人生を終わらせることで自分の人生を築くような仕事でもね。でも、私にとっては、その日は人生でもっとも暗い一日だった。中絶してどうだったかって？私のそれまでの人生の中で、胸がよじれるほどのもっとも恐ろしい経験だったし、あなたを身ごもって

いた短い三ヶ月の間に味わったもっとも辛い出来事だった。この苦しみを克服するのに、10年かかったほどよ。いいえ、やっぱり違うわ。一生完全には克服できないみたい。だって、今も涙が出てくるもの。それに、あの四月の運命の日は、何度も何度も記憶に再現される。まるで、いやいや見たのに決して忘れられないホラー映画のように。

情景をあの頃に戻すと、私は、前にも面会したプロ・ライフのカウンセラーの親切そうな瞳を見つめている。彼女は、中絶がいかに危険であるかを優しく諭す。「最初の妊娠で中絶した女性の5〜10%は、一度と子どもができない体になるってことを知っている？」と私に言う。私はわずかに膨らんだお腹を見下ろす。手に握りしめている、彼女にもらった印刷物の上に、涙がこぼれ落ちる。

彼女は尋ねる。「決心は確かか？中絶が本当にあなたの望みの？」私は泣き続ける。「いいえ。中絶したくなんかないわ。でも、やらなくちゃいけないもの。それ以外に方法はないの。」と叫ぶ私。でも、取り乱したこの精神状態の中で、私はほかに方法はあることを知っている。自分はただ、ほかの方法について考えることが怖いだけなのだということも。自分だってまだ子どもなのに。母親になるには「早すぎる」もの。

母親になるには早すぎるどころか、もう既に自分は母親であるということをそのとき、私は気づいていなかった。あなたは、受精の瞬間から私の子どもであり、あなたへの愛情も、あなたのいのちが始まったそのときから始まっていたのね。あなたのいのちは終わっても、あなたへの愛は決して死ななかった。

何年もの間、あなたの静かな叫びで目が覚め、暗闇で横たわったまま自分が殺した子どもに死にうちひしがれる夜が続いた。あなたにしたように、自分のいのちも絶ってしまおうと思っただこともあった。10年もの長い時間が経つのに、今でも私は自分が許せないの。私の赤ちゃん、あなたはどうか？私のことを許してくれた？神さまはどうかしら？せつかく授けてくださったいのちを殺してしまった私のことを、許してくださいませんか？

何年もの間、この手紙をあなたに書きたくてたまらなかった。でも、自分の気持ちを言葉にしようとする、インクの代わりに涙でうまったページができるだけだった。でも、なぜだか今夜はいつもと違うみたい。あの後悔に満ちた日にあなたが私の体から流れ出たように、私のペンからは言葉があふれてくる。

たぶんこの手紙は、書かれる運命だったのでしょう。私が経験したような苦しみをほかの人が味合うことがないように、10年前の私のような「問題」を抱えているほかの女性に中絶のほかに方法があるということを伝えるため、そして中絶以外の方法を選べば人生を後悔と惨めな気持ちで送らなくて済むということを伝えるため、なのでしようね。

たとえこの手紙が一つの中絶も止めることができなかったとしても、何らかの役にはたつことでしょう。でもね、私の赤ちゃん、私があなたにこの手紙を書いた目的は、私があなたを愛していることをあなたに知ってもらうためなのよ。あなたがどこにいても愛していることを。そして、ごめんなさいという気持ちを伝えたいの。

# 悲しんでいいんだよ

あなたの悲しみは健全さの印、つまり、あなたが、現実を無抵抗のまま受け入れたり、悪化し道徳的精神的に有害なものになる場所にそれらを埋没させたりせず、現実と対決している印です。涙は浄化をもたらすもので、心の傷が癒される第一段階は、心の傷が存在することを認め、それらの傷の原因を認識することです。

あなたには、悲しむ権利があります。もし幼子を病気や事故で失えば、社会はあなたの悲しむ権利を否定しないでしよう。予定していた、または望んだ子どもを流産してしまったことは悲しむべき正当な理由です。自分が中絶された子どものことを悲しんでいることに気づいて驚く女性がたくさんいます。というのは、中絶は、多かれ少なかれ、自分が選んだ行為だからです。しかし、そうであるがゆえに余計に悲しむ理由になるのです。つまり、責任とか罪悪感といったことが加わって、その悲しみを深くさせるのです。

医者や、中絶施設のカウンセラーや、他の「家族計画」の推進

あなた  
正しい選択をしたのだから、  
悲しむことはない  
人は言う。  
でも  
わが子を  
亡くしたのだから  
涙を見せて  
いいんだよ。

員や、中絶をしたことのある他の女性や、精神分析医や、両親や、夫や恋人によって、あなたが悲しむのは理にかなっていないと信じ込まされるかもしれません。このことによつて、しばしば女性は、自分が悲しむことを、愚かと思ったり、自己中心的だと思ったり、悲しむことに罪悪感を感じたりするようになります。そしてそのことは、すでに混乱している状態をもっと悪化させ、女性に恐怖感を

与え、どん底から這い上がれなくさせるだけです。あなたが悲しむことは、正当なことであるばかりでなく、正常なことです。妊娠すると女性は母になるべく、全てのホルモンが変化し始めます。体の仕組が子どもを産むための準備をするのです。また、母としての考え方が確立し始めます。中絶のよつな、この自然な働きを妨げることは、体の生態を異常な状態

にさせ、母親になるべき人の心を傷つけます。中絶しているのに虚しさや悲しみを経験できないことは異常なことです。だから、あなたが悲しい人生経験に、正常に対応していることを認識して下さい。あなたがその悲劇を招くことに手を貸したという事実は、あなたの悲しむ必要性を否定するよりもむしろ、増すことなのです。

Input together newspaper.jp

## 『モーニングアフターピル』批判

(バチカン側は墮胎薬と判断)

バチカン側は、最近発売を開始された避妊薬『モーニングアフターピル』が、化学的方法による一種の中絶と批判したと、アソシエイトド・プレス(ADP)で報じられた。

は性交渉から72時間以内に服用する必要があり、子宮の厚さを変え、受精卵、すなわち新たな人間の生命が着床するのを妨げる効果をもつ。

法王庁の生命学院が今日発表した文書によると、この薬を処方・販売するのは中絶の『道徳的責任をとる』ことになる、バチカン側は非難しているという。

妊娠を中絶に至らせるピルは86という薬は、イタリアでは認可されていない。イタリア保健省は「緊急避妊のため」9月にモーニングアフターピルを認めたとAPは報じる。

ホルモンがベースのこのピル

バチカン側の文書では、最終

(2ページから)

この女性は、手紙の最後にこう署名している。「ママより。」彼女がこの手紙を書いたことは、とてもいいことだったと思う。誰にとつて？これを読むみんな？もちろん、これを読んだほかの人は、同じような苦しい経験を避けられるかもしれない。

だが、同じように、この手紙は彼女自身にとつてもためになつたはずである。子どもの殺人に自ら手を貸したという現実と真正面に向き合うことができたから。これは、辛い時期を過ごす時の非常に大事な経験であり、苦痛をのり超えるためには欠かせないことなのだから。

ノボット・ジェリー,oml



目的が受精卵の追放ゆえ、このピルの避妊薬という定義に異論を唱えているそうだが。

「モーニングアフターピルは化学的手段による中絶に他ならない」という文書は、混乱している保健省関係各位に、生命に反する『姿を隠した侵略者』への『良心的な異議を唱える人』になるよう力説している。

(Zenit 2000.10.31)

# 昔は大家族が当たり前だった

昔は、大家族が当たり前だった。しかし、食べ物、衣服、住居などの物価が急上昇している現代では、大家族なんて狂気の沙汰ということになりかねない。しかし、グレン・マデアとグウェン・マデア夫婦にとっては、そうでないらしい。少しばかり失礼かなと感じながら、聞かずにはいられない人々から、彼らは質問を受けることがしばしばある。

「11人も子どもを持つと、最初から計画していたのですか。」

「いいえ。」彼らはいつもこう答える。「本当は、12人欲しかったのですよ。でも神が私達におつかわしになったのが11人だったのです。」

子どもが全員成人した現在でも、今度は別の質問が、子どもを一人か二人しか持たない親達から飛び出す。「どうやって全員の食べ物や服や場所を用意できたのですか。どうやって全員の健康や悩み、教育や社会的地位について気を付けることができたのですか。手のつけられない十代のころに、家族につきものの言い争いや、病気や心配事をどうやってちゃんと処理することができたのですか。」

「理学士の

学位を持つ小柄で赤い髪のグウェンが答える。「子どもが一人でも11人でも同じことです。子どもには、無条件の愛と、多くの犠牲と、深い信頼を与えることが大事です。要するに、神の教えのとおりにもこのことを行うことです。」

結果、マデア家では、幼い頃からこれらの教えを身につける。犠牲は多くとも、幼い頃からキリスト教育を受けさせることの大事さ。価値の重要性。大家族の方が、ちいさい子どもに現実の受け入れ方を学ばせやすい。家族の結びつきは、将来お金で買えない見返りをもたらず、などである。無論、ものがうまくだ運ばないかのような時期もあった。子どもが多すぎてどこからモ家を借りられない時、食べ物にいろいろ混ぜて量を多くしなくてはならない時、学校の教材をたくさん買わなくてはならない時。しかし、そんな時でも、マデア家では、分け与えることの美しさ、家族の絆の強さこそが一番大事なのだと思ってきた。

夫がベトナムから重い病にかかって帰って来た時、子ども達も助け合ってグウェンを支えて

くれた時は、このことの大きさがグウェンによりはつきりわかった。

子ども達が大きくなるにつれ、食料品の買い出し、食事作り、その他の家事、移動などがすべて楽になってきた。子ども達が家事を分担し、運転を覚え、小さい子ども達の面倒をみるようになったからだ。「ある時期からは、私は単にアドバイスするだけでよくなりました。」とグウェンは言う。グウェンはまた、電話は一人十分までと取り決め、一本の電話線で皆が事足りるよう

にさせたという。

「これらのことすべてのおかげで、子ども達は利己的にもならず、他人を思いやることを学んだのです。どんな願い事でも叶う子どもは、成長すると不幸せな大人になるのです。」とグウェンは言う。

「私達の幸せは、物質的な豊かさには左右されない、私達が誰であるか、他の人にどうふるまうかによって決まるんだってママは教えてくれました。」グウェンの娘の一人、テスはこう語る。彼女はミズーリのTV局のパーソナリティーをしている。「ママとは

逆にパパは、私達に原則を与えてくれました。」

以前パイロットをしていたグレンは、めったに逆上して怒ったりしない。彼は、明白な「提案」をゆっくりと優しい南部なまりで、子ども達によると少し軍隊調で、伝える。一番大事な規則はこれである。「個人の望みや計画よりも、家族の幸せが大切！」

「パパは冷たいわけではなかったけど、いつも厳しかったわ。自分が育ったルイジアナの教育方針なのかもしれない。とにかく、決して破ってはならない規則というものが、私達にはあったんです。」

親密さということにかけては、今や弁護士、内科医、看護婦、その他の専門的な職業についているマデア家の子ども達は、「共に遊び共に祈る家族はいつも一緒にいる」という格言をそのまま実行しているかのようだ。毎晩夜のお祈りの時には、ひざまづく子どもで部屋中いっぱいになる。

マデア家にとって、お祈りのほかに子育てに必要なのは、一緒に過ごすことである。まだ子ども達が小さかった頃は、全

員一つの車の中になんとか入り込み、これ以上は予定外と頑張っていた。それから、テントを一つ余分に立てなくてはならなくなつた。車とテントの数は、徐々に二倍、三倍と増えていった。ついには、高価なボートも加わり、キャンピングカーまで購入した。キャンピングカーは、家に駐車している間は静かな勉強部屋になるというので、結局もう一台増えた。

旅は、家族の絆とお互いを愛し合う気持ちと友情を築くのに役立つ。それは困った時、必要な時に、ほかの人を助けることにつながる。

今日になつても、マデア夫婦は、家族の子ども数について、質問されることがある。ある人は、そんなに大勢子どもがいては、グウェンは自分が誰なのかわからなくなつてしまつたに違いないと言う。「ママ」と呼ばれつつけて、「ママ」でしかなくなつてしまつたのではないかと。子ども達によると、そうではないらしい。おむつをかえたり学校の会合に出席したり、時間講師として学校で働きながらも、グウェンはほかの事にも時間を使っている。未婚の母になるう

として、未婚の母になるう迷っている女性や中絶しようか

ている。

グウェンと軍を退職したクレ  
ンにとってはどんな環境でも、  
子どもは宝物だ。「神は人類に、  
お金で買えない贈り物を下さっ  
た。それは、創造の過程で共有す  
るということ。」グウェンは、  
子どもはみんな愛の結晶だと考  
える。二人の人間の愛情を生涯  
形にしたものだ。

「生まれてくる子ども」に、  
結婚生活のまた違った愛の一面  
が表れるような気がします。」と  
グウェンは言う。「もしかした  
ら、それが子どもを11人も産ん  
だ理由かもしれませんね。」

デビッド・ボーガン

## 台湾の十代、中絶について語る

『イースタン・マルチメディ  
ア・マーケティング・サーベイ・  
センター』が実施した調査によ  
ると、十代の若者の87%が、中絶  
は殺人と同じものと思っていな  
がらも、それでも54%の若者が  
中絶することを考えてみるこ  
とがわかりました。

『イースタン・マルチメディ  
ア』に調査の実施を依頼したの  
は、フ・ジエン大学の神学部でし  
た。台湾の十代の少女で中絶経  
験のある人数は明確ではありま  
せんが、調査されたうちの27%  
は、友人が中絶をしたことを聞  
いたことがあると答えました。

その調査ではまた、十代の若  
者の53%は婚前交渉を容認でき  
ると考えていることもわかりま  
した。しかしながら、そう思っ  
ているのは女性よりも男性の方  
が多く、結婚前のセックスを適切  
な行為だと思っているのは少女  
の41.94%に過ぎないのに比べ  
て、男子では20.05%であるこ  
とがその調査でわかりました。

『ガーデン・オブ・ホープ財団』  
によると昨年、約一万五千人の  
赤ん坊が15才から19才までの少  
女から生まれました。

「台湾の十代の若者は、セック

スに対してこのような開放的な  
考え方をすべきではありません。  
アメリカが辿ってきた道と同じ  
道を進んでいます。」と、フ・ジ  
エン大学の神学部長であるルイス・  
オールドリッチは話しました。  
『ガーデン・オブ・ホープ財団』の  
チャー・ファイ・ジュンは、ルイス・  
オールドリッチの懸念に同意し  
て、「十代の若者の54%が、妊娠  
したら中絶を考えるとということ  
は非常に残念なことです。」と述  
べました。

十代の若者の多くは、中絶が  
自分たちの問題を解決してくれ  
ると信じています、とチャーは述  
べました。「実際、妊娠した十代  
の女性にとって中絶が唯一の選  
択肢ではないのです。中絶の他  
に、新生児のための里親制度を  
利用したり、結婚したり、シン  
グルマザーになることも考えるこ  
とができるのです。」とチャーは話  
しました。

「もちろん社会には喜んで手を  
貸そうとする人はあまりいませ  
ん。妊娠した十代の女性には社  
会からほとんど援助や支援がな  
いのです。」と、結婚していたに  
もかわらず、妊娠して学校を  
退学になった女性のことを引き

合いにししながらチャーは話しま  
した。

その調査では、82.03%の若者  
がセックスのことをはっきりと  
理解していると主張し、70%の  
人が避妊方法について正しい知  
識があると信じているという結  
果でしたが、チャーによって引用  
された別の調査では違った結果  
が出ていました。5年前に「台湾  
家族計画協会」が実施した調査  
によると、十代の若者の約3分  
の2が、初めてのセックスのと  
きに避妊をしなかったと答えて  
います。同じ調査で、23%が最初  
のセックスで妊娠したと答えて  
います。

カウンセリングの重要性を強  
く訴えている人もいます。「私は  
若者たちが、自分たちの中絶経  
験を話しているラジオ番組の電  
話を聞いたことがあります。中  
には2回以上中絶した人もいま  
す。」と、国立タイペイ大学の社  
会福祉学科の助教授のレン・  
チャンは話しました。そしてさ  
らに、「単に性に関する知識だけ  
でなく情緒面での教育も必要で  
す。」と付け加えました。

「墓地で、死んだ赤ん坊のため  
に聖堂が作られているのを見た  
り、中絶をした若者が罪悪感を  
和らげるために占い師を捜して  
いるのをよく見かけることがあ  
ります。」とチャーは話しました。

チヨン・ヒュー・イエン

## 納税者が支える中絶

アフリカキリスト教民主党  
(ACDP)の党首であり開発計  
画大臣でもあるマイケル・ルイ  
ス氏は、南アフリカで行われて  
いる中絶を撲滅させる為なら、  
牢屋に27年以上でも入る心の準  
備がある、と言っている。クレア  
モンドで開かれたACDPの公  
開会議でルイス大臣は、「ネルソ  
ン・マンデラ氏は制度化した人  
種差別を終わらせる為に27年間  
牢屋で過ごした。私は、罪のない  
子ども達が殺されるという制度  
化された殺人を終わらせる為、  
それより長い期間だつて牢屋で  
過ごす準備がある。」と言った。  
彼は、「中絶の費用は南アフリ  
カの納税者によって賄われてい  
る。南アフリカ国民がパンを一  
斤買う度に、その代金の一部は  
子どもを殺す為に廻されている。  
結果として、それは国民全員が  
殺人に貢献しているという事だ  
がある。南アフリカ人は中絶に反  
対する態度を積極的にとり始め  
なければならぬ。税金を払っ  
ているというだけで、中絶に反  
対する行動を具体的に取らない  
のであれば、私達は皆この残酷  
行為にかかわっていることにな  
る。」

「ACDPは中絶を道徳問題と

(6 ページへ)

# プロ・ライフ資料紹介

## カラー・パンフレット

201

### 『生か死』

カラーパンフレットは201～211まであります。201～211までのカラーパンフレットは組合せ自由で、もちろん同じ番号のものを多部数購入して頂いても、一部の番号を取り合わせて多部数買っていただいても、『パンフレット申し込み』と右最下部の枠に示すようにお安くしております。

『生か死』カラーパンフレットの中でもこれだけは、A4サイズ位の2つ折になっておりますので、4ページあります。

表紙の1ページには上下二つに別れた赤ちゃんの写真。

上には生、すなわち妊娠21週目に生きて生まれた赤ちゃん。この写真をとった時は生後3週間目。看護婦さんの結婚指輪が右腕にごそごそで動いているし、数えられる肋骨、いかに小さい赤ちゃんが現代医療のお陰で生を得ることが出来たかお分かりいただけるでしょう。

下には死、すなわち上の赤ちゃんと同じ妊娠21週目の赤ちゃん、ふっくらした手と足、丸みを帯びた背中、でも彼、彼女はもう生きていない。中絶でいのちは奪われた。

これらの写真から、あなたはメッセージをはっきり読み取ることが出来るでしょう。

2ページと3ページには写真とともに中絶の方法と説明、そして、お腹の中での成長段階の写真とそのころの様子。

4ページは中絶問題に対する様々な質問と答え。

**[511] 赤ちゃん：最初の十ヶ月の旅**

**[515] 経口避妊薬：ピル**

注文：	1 - - - - - 5	1部 = ￥100
	6 - - - - - 20	1部 = ￥75
フルカラー	21 - - - 999	1部 = ￥50
	1000 - - 以上	1部 = ￥35

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科

(5ページから)  
して捉えているのではなく、殺人として捉えている。アメリカでは、中絶が社会にどういう結果を招いているかを見て、国民の中絶反対の意見が多くなってきた。女性が中絶を選び決行する前には必ず超音波でお腹の赤ちゃんを見ること、という法律も提案されている。ルイス氏は、ACDPは何が何でも中絶に反対していくと言っている。「子ども達が痛みを伴うひどい外傷を受けながら毎日死んでいる、というのが現実なのだ。」新生児と同じく、子宮の中の赤ちゃんも痛みには敏感なのである。  
「キリスト教信者は、自分達の払ったお金が中絶を支えることにならないよう、税金を信託資金に払い込むことで税金を使わせないようにすることを考える時がくるかもしれない。」とルイス大臣は言う。1998年2月に中絶が合法化されて以来、毎日80人以上の胎児が中絶されている。

(ACDPプレス発表)

#### 【プロ・ライフニュース】

[101] 1部ご注文 ..... 無料 ..... + 郵送料

#### 【カラー・パンフレット】

[201] 生か死 ..... + 郵送料  
 [202] 第二の処女 ..... + 郵送料  
 [203] デート ..... + 郵送料  
 [204] どうするの? ..... + 郵送料  
 [205] "NO" という技術 ..... + 郵送料  
 [206] テイーンの出産コントロール ..... + 郵送料  
 [207] パージンの瀬戸際 ..... + 郵送料  
 [208] していましたが ..... + 郵送料  
 [209] 親権限と「10代の性」 ..... + 郵送料  
 [210] 貞節のすすめ ..... + 郵送料  
 [211] 中絶行為は女性を解放しない ..... + 郵送料

#### 【ポケット・サイズ】

[301] 若い生命「1セット=カード+人形」 .....30円 + 郵送料  
 [303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン .....200円 + 郵送料  
 [304] 国際プロ・ライフ・ネックレス .....500円 + 郵送料  
 [305] 胎児の人権宣言カード .....30枚=100円 + 郵送料  
 [306] ミニソフィア Ace エース(税別) .....7980円 + 郵送料

#### 【ビデオ+ 本・日本語】

[401] 沈黙の叫び ... (VHS/Beta) .....7000 + 郵送料  
 [403] ビリングス・メソッド ..... (VHS/Beta) .....7000 + 郵送料  
 [404] いのちーおくりもの ..... (VHS) .....13000 + 郵送料  
 [407] 命美しいもの = one&only ..... (VHS) .....20000 + 郵送料  
 [409] 聞こえる? 天使の鼓動 ..... (VHS) .....6000 + 郵送料  
 [410] ピル先進国・英国からの警告 ... (VHS) .....15000 + 郵送料  
 [411] (コース・セミナー) エイズ時代の性倫理 ... (VHS) .....3800 + 郵送料  
 [500] (本) 生命問題に関する ... (カトリックの教え) .....2987 + 郵送料  
 [501] (本) 自然な家族計画 ... (ビリングス・メソッド) .....1000 + 郵送料  
 [503] (本) プロ・ライフの旅 .....300 + 郵送料  
 [504] (本) 小さな鼓動のメッセージ .....1200 + 郵送料  
 [505] (本) いのちをみつめて .....500 + 郵送料  
 [506] (本) 命あるすべてのものに (マザー・テレサ) .....660 + 郵送料  
 [507] (本) 私の生命を奪わないで .....2300 + 郵送料  
 [508] (本) いのちの福音 .....1500 + 郵送料  
 [509] (本) 小さき生命のために .....1300 + 郵送料  
 [511] (本) 赤ちゃん：最初の十ヶ月 ...12ページ ...100 + 郵送料  
 [512] 本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて .....300 + 郵送料  
 [513] 本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント .....500 + 郵送料  
 [514] 本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう .....300 + 郵送料  
 [515] (本) 経口避妊薬：ピル .....100 + 郵送料  
 [516] (本) いのちの福音と教育 .....1470 + 郵送料  
 [517] (本) フマネ・ヴィテ .....300 + 郵送料

#### (本) フマネ・ヴィテ

1 ~ ~ 30 1部 = 250円  
 31 ~ ~ 100 1部 = 200円  
 101 ~ ~ 以上 1部 = 150円

#### パンフレット申し込み

1 ~ ~ 5 1部 = 35円  
 6 ~ ~ 100 1部 = 25円  
 101 ~ ~ 500 1部 = 20円  
 501 ~ ~ 以上 1部 = 15円

は自由で  
 組み合わせ

# 十代の性

(27)

**問い：**もし私が妊娠したら、私は中絶を選ぶ権利が欲しい。なんといいってもこれは私の身体なんだから！と思うのです。

## Q&A

平和を破壊するいちばん恐ろしいものは墮胎です。なぜなら、子どもを殺すのはその子の母親自身だからです。…若い女性達は両親を恐れ、世間の人々を恐れるあまりに、墮胎することがよくあります。でも彼女たちを助けなければなりません。(マザー・テレサ)

『沈黙の叫び』を見て

### とてもつらかった

ビデオを見て、まだ生まれてきてもない赤ちゃんが、中絶の器具を恐れて、激しく動き回り、口を大きく開いて、声なき叫びをあ

**答え：**あなたの身体？あなたの身体のひとつひとつの細胞は、すべて同じ遺伝子を持っています。お腹の中にいる大きく育っている赤ちゃんにはその赤ちゃんだけの遺伝子があり、それはあなたとは違うのです。赤ちゃんの身体はあなたのお腹の中に入っています。あなたの身体の一部ではないのです。ですから赤ちゃんには赤ちゃん自身の人間としての権利があり、それは尊重されなければなりません。あなたには、罪のないのちを摘み取る権利はありませんが、確かに赤ちゃんの母親として選択することは出来ます。その選択とはいのちを与えるか、殺すか、です。あなたのお腹にすでに存在する赤ちゃんは、生きて生まれて人生の楽しみを謳歌するか、または死んでこの世に出てくるか、どちらかです。

人生の中で私達が何かを選択する時は、いつでも結果があります。例えば結婚を選んだ女性は、「独身女性」としての生活を続けることは出来ないし、他の男性とデートすることも出来ません。そうでなければその結果が内面的、感情的な矛盾になるし、結婚相手とも難しくなります。他の人達にどのような影響を与えるかも考えずに自分の選ぶ権利を主張することは、結果的にあなたは、社会で強い者が弱者や無力な者に対して自分にいいように押し付ける権利を、原則的に受け入れていることになるのです。本当にあなたはそんな哲学に賛成しますか？



げているのを見て、とてもつらかったです。立派な一人の人間として苦しんでいるのに、誰にも自分の主張が来ずに切り刻まれて、砕かれて、人間とはおおよそ別の、違う姿になってしまっている。そんな映像を見て、私は心を強く打たれました。

あの、バラバラになった手は、生まれていたらきっと、野の花や幸せをたくさんつかむはずだったんだろかな、と思いました。

T・Yさん(高校三年生)

# 日本プロ・ライフ・ムーブメント事務所

〒780-0062

高知市新本町一丁目7-31

電話/Fax: 088-873-3619  
e-mail: prolife@i-kochi.or.jp  
http://www.japan-lifeissues.net

For English Speaking People /evening: Tel/Fax: 088-843-0406 Email: nvt56n@ps.inforiyoma.or.jp

## 会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円

一万円 五千元 一千元

無料: 毎月プロ・ライフ・ニュースレター

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さいのちを大切に育みましょう。

## 事務所時間:

月一金 10:00 - 17:00  
土曜日 休み  
日曜日 休み

## 御送金

銀行: 四国銀行朝倉支店  
口座番号: 0573553  
日本プロ・ライフ・ムーブメント  
郵便局: 「郵便振替」  
現在口座番号: 01660-5-39607  
日本プロ・ライフ・ムーブメント

## 事務所便り

子ども達にとって夏休みのある八月は、家族で何かをするには都合の良い月です。それで今月号の『プロ・ライフ・ニュース』は出来る限り、家族をテーマに記事を選びました。

このゴールデン・ウィークに事務所を一週間お休み頂き、『第15回内モンゴルへのあんず園植樹支援とふれあいの旅』に主人と出かけ、日本の古き良き時代の家族像が今もある人々と交わられたのはとても良い経験となりました。

通訳をしてくれたアラちゃんは8人兄弟の6番目、彼が4才の時お母さんが亡くなったと言います。日本ではそんな場合、4才のアラちゃんよりまだ小さい子どもが二人もいるお父さんは困って、後妻と言うんだけど、次のお嫁さんを貰うことが多いけれど、ここはどう?と尋ねてみました。彼は即座に否定したので、「アラちゃん達は誰に育てられたの?」と聞くと「お姉さん」と答ながら、「でもお母さんの恩は忘れない」と付け加えることを忘れないモンゴル族の好青年(彼は通訳と言う仕事以上に私たちへの細かい心づかいを見せてくれたのは、このような大家族の中で成長した賜物ではないかと思つ)に、そして、砂漠での植樹と水やり子どもも大人も一斉に出て来て汗を流す姿に、そして、夕方から開かれた私たちを歓迎してくれる会に来て、日本の場合のように、隣家と言ってもそんなに近くない道を、真つ暗になった夜道を(私が知っているある家庭はそこから3K位沙漠の道を歩いていくところ)、家族そろって歩いて帰って行くその後ろ姿を見送りながら、触れ合いのある家族の深い絆がいつまでも続いていくことを、この国の明るい未来のために心から願っていました。

皆様はそれぞれ家族との触れ合いをどのように持っておられるでしょうか。どうぞ、良い夏休みを!

日本プロ・ライフ・ムーブメント